

西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）

フリガナ）オオサカサンギョウダイガク	フリガナ）ケイザイガクブケイザイガクカ	フリガナ）オオタニゼミ
大阪産業大学	経済学部経済学科	大谷ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）コミックワン	フリガナ）ゲンノ ナオキ	4 人	無
コミックワン	源野 直樹		

研究テーマ（発表タイトル）

日本における LGBT の現状とそれに対する解決案「LGBT マップ」

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

日本における LGBT と呼ばれている性的少数者への偏見と、彼らが現在、直面している社会問題に私たちは注目した。LGBT とはレズ・ゲイ・バイ・トランスジェンダーの頭文字をとったセクシャルマイノリティの総称である。現在、同性婚は 25 か国で法的に認められているが、日本ではまだ認められていない。その理由とまた、LGBT の人々が、現在どのような問題に直面しているか調査し、その問題を解決する手段を考案した。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

日本と海外とでは LGBT の受け入れに差があり、現在、日本では同性婚は法的に認められていない。また、LGBT の自殺率は平均自殺率より高い値となっており、その理由としては、孤独感、自己否定、差別を受けるなどが挙げられている。そういった問題に対して、LGBT のコミュニティやイベントが存在しているが、地方ではコミュニティの数が少なく、また人によってコミュニティの雰囲気合わない場合がある。

3. 研究テーマの課題

大阪や東京といった都市には、LGBT のコミュニティやイベントが多数存在しているが、地方ではコミュニティやイベントの数は少ない。コミュニティごとに会議の進行の仕方など、雰囲気に大きな違いがあるが、インターネットなどを用いてコミュニティのホームページにアクセスする方法では、そのコミュニティの雰囲気などを知ることにはできない。また、他のコミュニティやイベントを一覧で確認することもできないのが現状である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

これらの問題に対して、私たちは「LGTB マップ」を作成することにした。
各地の LGBT のコミュニティをまとめ、どこにどんなコミュニティがあるかを一目でわかるように表示する。また、そのコミュニティの雰囲気や活動の様子を乗せることで、自分にあったコミュニティを簡単に探すことができると考えた。
また地方区分で、行われるイベントを、月ごとにまとめたカレンダーや、ホームページ利用者自身がイベントを開催できる機能を付け

ることによって、地方でも簡単に LGBT の人々4 と出会う場を作れるようにする。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

LGBT の人々の現状はどうなっているかを知るために、実際に複数の LGBT のコミュニティに参加し、LGBT の人々はどういった悩みがあるか、またどういった社会的問題があるか、インタビューを行った。私たちの考察とインタビューで得た LGBT の人々の意見を交えた結果、「LGBT マップ」を考案するに至った。

そして、「LGBT マップ」にどういった情報や機能を加えたら、より便利で有効に使えるかを考えた。

6. 結果や今後の取り組み

私たちは、「LGBT マップ」を LGBT の人々だけではなく、ストレート（セクシャルマジョリティ）の人々にも閲覧してもらえるようにしたいと考えている。

地方と都市のコミュニティやイベント数の格差解消や、コミュニティの雰囲気合わない人々をなくすために、「LGBT マップ」を考案したが、日本での LGBT への理解や法整備を進めるには、LGBT 自身のカミングアウトとストレートの人々が関心を持つことが必要である。

現状では、LGBT 自身のカミングアウトは難しいとの結果になったが、「LGBT マップ」を用いて、LGBT 同士の団結力を高めてもらいたい。また、ストレートの人々も「LGBT マップ」を使用し、気軽に LGBT の人々と接する機会を持ってもらいたい。

そうすることで、LGBT への無関心さがなくなり、また誤った情報による偏見もなくなっていくと考えられる。

7. 参考文献

- ・LGBT 法連合会（2010 年）『「LGBT」差別禁止の法制度って何だろう？ 地方自治体から始まる先進的取り組み』かもがわ出版
- ・風間孝・河口和也（2010 年）『同性愛と異性愛』岩波書店
- ・匠雅音（2013 年）『ゲイの誕生』彩流社
- ・日高康晴（2015 年）『LGBT を知っていますか？ “みんなと違う”は“ヘン”じゃない』少年写真新聞社
- ・三成美保（2015 年）『同性愛をめぐる歴史と法 尊厳としてのセクシュアリティ』赤石書店

主要参考 URL

- ・EMA 日本 HP
(<http://emajapan.org/>) (最終閲覧 2016 年 11 月 2 日)
- ・G-FRONT HP
(<http://www5e.biglobe.ne.jp/~gfront/>) (最終閲覧 2016 年 11 月 2 日)
- ・LGBT Partners
(<https://www.imlgbt.tv/>) (最終閲覧 2016 年 11 月 2 日)
- ・LGBT サークル・セクマイサークル & 10 代 20 代が集まる団体【全国版】
(<http://matome.naver.jp/odai/2144659337225961001>) (最終閲覧 2016 年 11 月 2 日)
- ・QWRC HP
(<http://qwrc.jimdo.com/>) (最終閲覧 2016 年 11 月 2 日)
- ・国際連合広報センター
(<http://synodos.jp/society/2252>) (最終閲覧 2016 年 11 月 2 日)
- ・セクシュアルマイノリティと自殺リスク日高庸晴×荻上チキ
(<http://synodos.jp/society/2252>) (最終閲覧 2016 年 11 月 2 日)
- ・わが国における都会の若者の自殺未遂経験割合とその関連要因に関する研究
(<http://www.health-issue.jp/suicide/index.html>) (最終閲覧 2016 年 11 月 2 日)

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。